

令和5年度第1回地方独立行政法人下関市立市民病院評価委員会議事録【概要】

令和5年8月2日（水） 13時30分～14時30分

下関市立市民病院2階 講堂

地方独立行政法人下関市立市民病院評価委員会

： 飴山委員長、小山委員、伊藤委員、河本委員

地方独立行政法人下関市立市民病院

： 田中理事長、上野副理事長、吉川参与、法人事務局

下関市保健部（下関保健所）

： 八角部長、渡邊保健所長、和田部次長、高橋医監

藤永参事ほか3名

1. 開 会

2. 委員長互選

地方独立行政法人下関市立市民病院評価委員会条例第5条第1項の規定に基づき、委員長の互選が行われ、飴山委員が委員長に選出された。

3. 議 題

(1) 令和4年度に係る業務実績に関する評価結果（案）について

事務局 概要説明

＝質疑応答・意見等＝

なし

＝評価に対する意見＝

地方独立行政法人下関市立市民病院評価委員会条例第2条第2号の規定に基づく地方独立行政法人下関市立市民病院評価委員会の意見としては、特に付すべき意見はありません。

(2) 第3期中期目標期間終了時に見込まれる第3期中期目標期間の業務実績に関する評価結果(案)について

事務局 概要説明

＝質疑応答・意見等＝

なし

＝見込評価及び第3期中期目標期間終了時の検討に対する意見＝

地方独立行政法人法第28条第4項及び同法第30条第2項の規定に基づく地方独立行政法人下関市立市民病院評価委員会の意見としては、特に付すべき意見はありません。

(3) 第4期中期目標(案)について

事務局 概要説明

＝質疑応答・意見等＝

法人

第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

3 医療提供体制の充実 (1) 医師の確保について

「臨床研修医や専攻医、地域枠医師等の若手医師の確保に努めること。」はもっともなことだが、地域枠医師の派遣先は山口県が定めることであって、病院が目標として努力することができない。中期目標としては「地域枠医師」を削除していただきたい。

事務局

市としては、いろいろな形での若手医師の確保に努めていただきたいという目標であった。

「地域枠医師」を削除し、「臨床研修医や専攻医等」ということで検討したい。

評価委員

第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

2 患者満足度の向上について

患者満足度調査で令和4年度が89.3点で目標値を超えていないということで評価が「3」、接遇研修参加率が令和4年度が52%、令和5年度の目標が50%だったので、これを上回っており、評価が「4」となっていることに関して異存はないが、令和2年、令和3

年よりも令和4年が下がっている。来年度からの評価は、令和5年度の見込みや令和4年度の実績値52%を評価値にさせていただきたい。

接遇研修は全員に受けていただきたいと思います。動画で好きなときに職員が見れる体制を整えておけば、他の研修の受講率が上がる、質が向上するということにつながるのではないかと。

健康教室については、オンライン健康教室など、いろんな時代に合った工夫が必要になってくるのではないかと。

法人 医療の安全とか感染対策だとすごく出席者が多いが、接遇研修だととたんに減ってしまう。いつでも見られるeラーニングにしたときに、どれだけ見るのかというのはあるが、何度も同じ研修を行い、受講機会を十分作る努力はしている。

市民への啓発活動のオンライン化は、リハビリテーション分野で筋肉が弱った時の予防策を動画に作って、HPにのせており、市民でもみることはできるが、そういった努力が今後も必要だと思ふ。

＝第4期中期目標（案）に対する意見＝

地方独立行政法人法第25条第3項の規定に基づく地方独立行政法人下関市立市民病院評価委員会の意見としては、「大項目第2、中項目3の（1）医療従事者の確保については、法人の努力によって実現できる目標としてください。」

3. 閉 会